県内宿泊客増加に向けた観光の振興

目指す姿

令和元(2019)年までに、観光消費額を1,900億円にします。

主担当部局(長)名 観光局長 折原 英人

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況



(注)都道府県により公表時期が異なるため、年により公表されている都道府県数が異なります。

H23:43都道県 H24:43都道県 H25:44都道府県 H26:44都道府県 H27:43都道府県 H28:43都道府県

H29:35都道県 (令和元年7月末時点)

	観光消費額(億円)					
	基準値		実績値	進捗率	目標値	
指標	1,126	→	1,630	65.1%	1,900	
	H23 (2011)	504 億円	H29 (2017)	6 年目	R1 (2019)	

進 機光消費額は増加傾向で、平成29年は1,630億円 となり、平成23年から504億円増加しました。なお、 選進捗率は65.1%となっています。

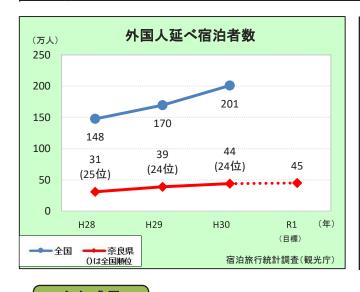
4. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略

インバウンド誘客の地力をつけることを中心に、観光誘客の強化、県域全体への周遊・滞在型観光の推進に取り組みます。 (誘客のためのプロモーション)

主担当課(長)名

観光プロモーション課長 葛本 雅則



	外国人延べ宿泊者数(万人)					
指標	基準値		実績値	進捗率	目標値	
	31		44	92.9%	45	
	H28	13	H30	2 年目	R1	
	(2016)	万人	(2018)	3 + =	(2019)	

進 観光PR動画を活用した海外向け情報発信や受入 捗 環境の整備等により、平成30年の外国人延べ宿 状 泊者数は、平成28年から13万人増加しました。な 況 お、進捗率は92.9%となっています。

主な成果

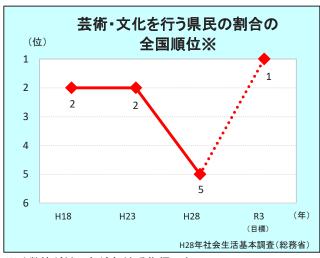
ジャポニスム2018に参画し、公式企画「地方の魅カー祭りと文化」における春日若宮おん祭の海外初披露、公式企画「古都奈良の祈り」における奈良の仏像展示等、奈良の歴史文化の重点的なプロモーションを行いました。

質の高いイベントの実施と県の文化力の向上

目指す姿

令和3(2021)年度までに、芸術・文化を行う県民の割合を全国1位に します。 主担当部局(長)名 地域振興部長 山下 保典

1. 政策目標(目指す姿)達成に向けた進捗状況



※は数値が低い方が良くなる指標です。

芸術・文化を行う県民の割合の全国順位※(位)

指	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
桿		7	5	順位を3 下げました	1
	H18		H28	10 年目	R3
	(2006)		(2016)	15 + 1	(2021)

県民が芸術・文化に親しむ機会の創出を目的として、県内の文化・芸術団体の優れた取組に対して支援する「新たな文化活動チャレンジ補助金事業」を平成23年度から実施しましたが、平成28年度の芸術・文化を行う県民の割合の全国順位が5位に下がりました。目標達成に向け、平成30年度より、奈良の文化力のより一層の向上を図るため、「未来へつなぐ文化活動ステップアップ補助金事業」に改め、文化芸術団体等の将来的な自立を促すとともに、多くの団体が補助対象となる機会を増やしました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略

|文化芸術への参加・鑑賞の機会や活動の裾野を拡大します。

主担当課(長)名 文化振興課長 中野 泰寿



県民アンケートにおける「ムジークフェストなら」の 周知度(%)

指	基準値		実績値	進捗率 (傾向)	目標値
標	21.9	\	34.2	37.2%	55
	H26	12.3	H30	4 年目	R3
	(2014)	ポイント	(2018)	7 + 1	(2021)

各種団体や、まちなかカフェ等との連携のほか、 進中南部東部地域においても公演を数多く実施する 捗など、県全体への展開について工夫を重ねて実施 状してきたことにより、平成30年度の「ムジークフェス 況トなら」の周知度は、34.2%となり、平成26年度か ら12.3ポイント増加しています。

主な成果

- ・奈良の仏像海外展示を、平成31年1月~3月フランス・ギメ東洋美術館にて開催しました。また、令和元年10月~11月英国・大英博物館での開催に向け事業を推進します。
- ・平成30年9月~11月に、「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」を一体開催し、714催事に163万人が参加しました。